

# 標本設計(案) ~サービス産業動向基本調査(仮称)~

母集団  
約267万事業所

- ・各表章分類ごとに、売上高(収入額)の標準誤差率が5%以下になるよう標本数を仮計算
- ・従業者規模別にネイマン配分し、90%以上の標本が必要となる規模以上を悉皆層と設定

売上高(収入額)の得られない産業については、従業者数で代替  
悉皆層は、表章分類ごとに「10人以上」~「500人以上」のいずれかに設定される

各表章分類ごとに、売上高(収入額)の標準誤差率が5%以下になるよう抽出層の標本数を決定

標本総数は、  
約4.5万

抽出層の標本は  
約4.1万事業所

悉皆層  
約4000事業所

従業者規模別にネイマン配分